

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		地すべり対策事業		路河川名等		(地)大倉	
事業毎の通番		2		市町村名		生坂村	
事業目的		大倉地区は東筑摩郡生坂村に位置し、過去から幾度も地すべり滑动が発生している地域である。平成28年9月の台風16号及び秋雨前線に伴う降雨により9月22日に地すべりが発生し、現在も村道が通行不能となっている。また、前年度においても降雨により同様の地すべりが発生している。区域末端は一級河川犀川となっており、今後の降雨及び融雪により地すべりの滑动が活発化すると、崩土に伴う河道閉塞により甚大な被害が想定されることから、早急に対策を行う必要がある。		箇所名(ふりがな)		大倉(おおくら)	
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(地すべり災害を防ぐ施設の整備)		事業実施の根拠法令等		地すべり等防止法	
関連する事業、計画等		なし		保全対象・範囲 受益対象・範囲		人家29戸、原公民館、生坂村歯科診療所、生坂村営やまなみ荘、村道	
着手年度		平成29年度		事業期間		4年間	
完成年度(見込み)		平成32年度		費用対効果		1.27	
全体事業内容(主な工種)		集水井工 N=1基 アンカー工 N=60本		横ボーリング工 L=3,020m 水路工 200m		250,000	
年度事業内容(主な工種)		地すべり調査、解析 1式 横ボーリング工 L=700m、水路工 100m		50,000		25,000	
事業効果		直接的効果(定量的・定性的)		河道閉塞防止、人家、道路等の保全			
		間接的効果(定量的・定性的)		災害に強い地域づくり			
評価の視点	必要性		(例) 人家戸数: 保全対象人家29戸 (例) 公共施設数: 原公民館、生坂村歯科診療所、生坂村営やまなみ荘、村道 (例) 災害時要援護者関連施設の有無: なし (例) 河川への土砂流量: 60,000m3	評価		B	
	重要性		(例) 過去の災害履歴: 平成28年9月22日 台風16号及び秋雨前線に伴う降雨により地すべりが発生 (例) 交通遮断による地域経済への影響: 村道 (例) 地域防災計画上の位置づけ: 生坂村地域防災計画に記載がある。	評価		A	
	効率性		(例) 費用便益比(B/C): B/C=1.27 (例) 事業期間: 平成29~32年度(4年間) (例) 工法等の比較検討: 調査、解析を行い工法を比較検討する	評価		B	
	緊急性		(例) 地すべり滑动度: 伸縮計の変動量が4mm/hを超過する動きあり (例) 地すべり変状: 過去1年以内に新たな滑落崖が形成され、村道に影響が出ている (例) 下流の堰堤等の整備状況: 地すべり発生箇所から下流の犀川までの間に堰堤がない	評価		A	
	計画熟度		(例) 事業情報の共有: 関係者に対し事業説明を実施している (例) 地域の取り組み: 生坂村から事業計画に対し要望があり協力体制が出来ている (例) 地域の合意形成: 整備手法に対し地域の合意形成が図られている (例) 住民との協働: 住民主導型避難体制づくりに取り組んでいる。	評価		A	
	部意見		台風16号及び秋雨前線に伴う降雨により発生した地すべりが今後の融雪や降雨等により拡大する恐れがある。末端部には(-)犀川の本川があり、河道閉塞が懸念されるため緊急に整備する必要がある。	行政改革課意見	今後の降雨等により地すべり活動が活発化する恐れがあり、保全対象に人家、村道等があることから、緊急性が高く、重要性も認められる。	評価結果	総合評価
				○		A	

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)	
	    	
事業周辺環境	【整備の必要性がわかる状況写真等】	
	<p>① 全景</p> 	
	① 事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	大倉地区は東筑摩郡生坂村に位置し、過去から幾度も地すべり滑动が発生している地域である。平成28年9月の台風16号に伴う降雨により9月22日に地すべりが発生し、現在も村道が通行不能となっている。また、前年度においても降雨により同様の地すべりが発生している。区域末端は一級河川犀川となっており、今後の降雨及び融雪により地すべりの滑动が活発化すると、崩土に伴う河道閉塞により甚大な被害が想定される。
	② 地域からの要望経緯及び地域の関わり	地すべり発生直後から村長、地域からの要望がある。
	③ 事業説明等の経緯	伸縮計による警戒体制及び今後の事業について関係者へ説明済み。
	④ 他事業・プロジェクトとの整合、関連	なし
	⑤ 自然環境・生活環境への影響と配慮	横ボーリング孔口等、地表に露出するものはふとん竈など自然の資材を用いたもので施工し、環境や景観に馴染むよう配慮する。
⑥ 地域活性化への影響と配慮	本事業により地すべり災害の防止が図られ、災害に強い地域づくりが推進される。	
⑦ その他	なし	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36.422875 東経:E 137.921946